

# 週次安全管理レポート (2026-06-08 ~ 2026-06-14)

株式会社Agx

## 1. 総合評価 嚴重警戒

今週は平均WBGTが「警戒」レベル、最大WBGTは「嚴重警戒」レベルに達し、熱中症リスクが非常に高い状態が続きました。特に週後半にかけて気温・湿度が上昇し、熱中症アラートが6658件と多数発生しており、現場全体で熱中症対策の強化が必須です。

最高気温

31.8 °C

最大湿度

72.0 %

アラート数

6658

最大WBGT

29.0 °C

平均気温

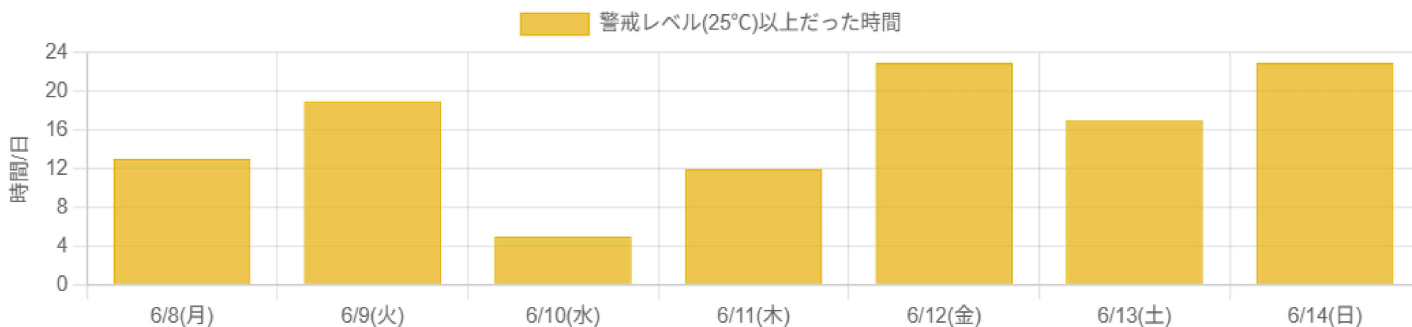
28.0 °C

## 2. 熱中症リスク分析

今週の現場では、WBGTの平均が25.0°Cと「警戒」レベルに達し、最高値は29.0°Cと「嚴重警戒」レベルまで上昇しました。この高温多湿な環境下で、熱中症アラートが合計6658件発生しており、現場作業員の健康と安全が強く懸念されます。特に日中の作業時間帯ではWBGTが継続的に高水準で推移しており、熱中症発症リスクが非常に高い状況です。早急な対策と継続的なモニタリングが求められます。

- 週平均WBGTが25.0°C（警戒レベル）に達しました。
- 最大WBGTが29.0°C（嚴重警戒レベル）を記録しました。
- 熱中症アラートが週全体で6658件と極めて多数発生しています。
- 週後半（特に6月12日～14日）にかけてWBGTが上昇傾向にあり、リスクが増大しました。
- 日中の作業時間帯におけるWBGTが継続的に高水準で推移しています。

日別 暑さ指数(WBGT)が警戒レベル(25°C)以上だった時間 (最も暑いセンサー基準)



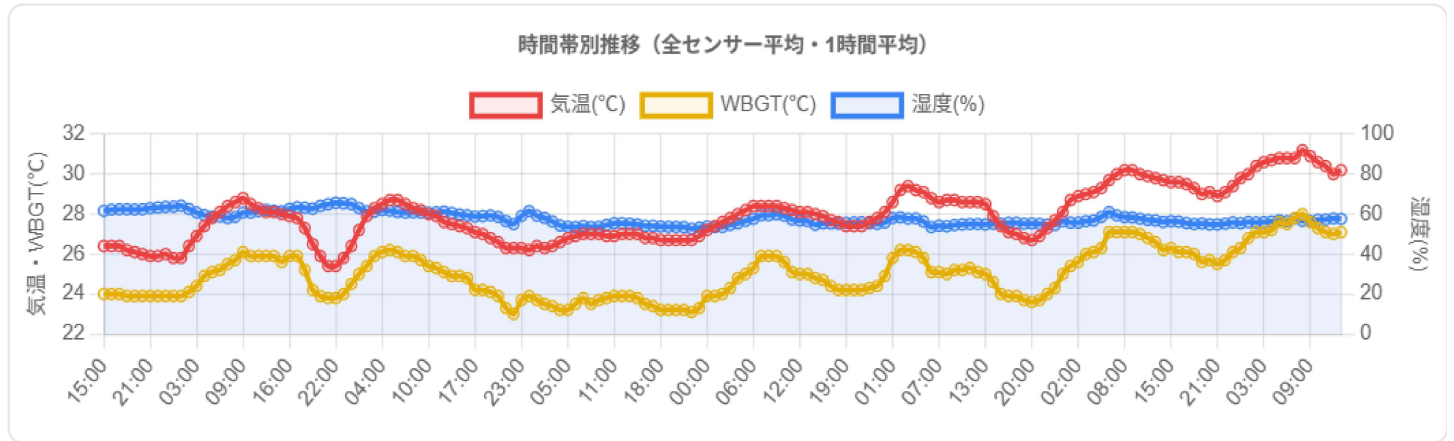
グラフは「1日のうち、暑さ指数(WBGT)が警戒レベル (25°C) 以上だった時間 (1時間刻み・最大24時間/日)」を表します。各日の値は最も暑かったセンサー1台を基準としており、テナント全体のセンサーを合計した値ではありません。

※ 判定レベル (警戒=WBGT 25°C以上) は、テナント設定「臨時レポート発行条件」に連動しています。

### 3. 天候影響分析

本レポート期間中のIoTセンサーデータからは直接的な天候情報（降雨、強風など）は得られません。しかし、平均気温28.0°C、最高気温31.8°C、平均湿度57.8%、最高湿度72.0%というデータは、今週が高温多湿な気候であったことを示唆しています。これにより熱中症リスクが大きく高まったと推測されます。今後も高温多湿の予報が出ている場合は、事前のリスク評価と対策が必要です。

- 直接的な天候データがないため、現時点での天候に起因する作業遅延リスクは特定できません。
- 高温による作業効率の低下や、熱中症対策のための休憩増加による間接的な作業遅延リスクが考えられます。



時間帯別 気温・湿度・WBGT 推移

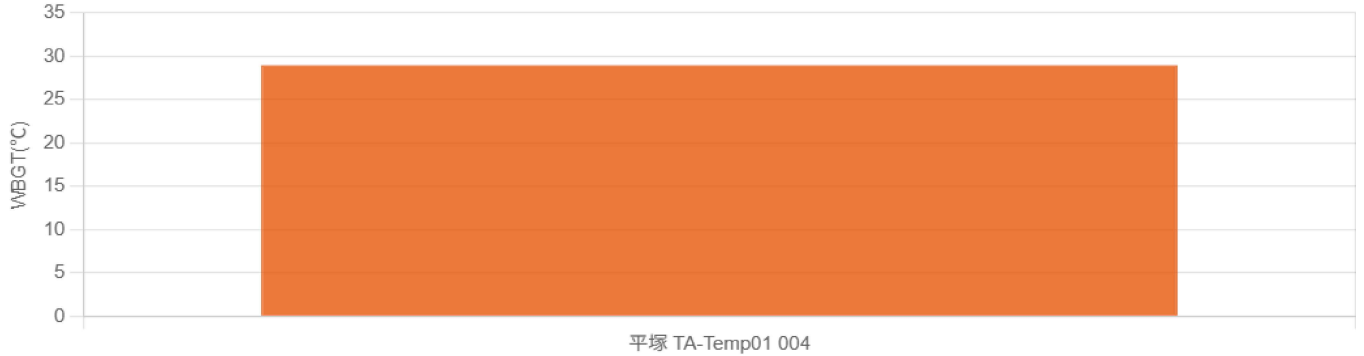
※ 対象テナント内の全センサーの測定値を1時間ごとに平均した、対象期間の推移です（瞬間値ではなく1時間平均）。WBGT（暑さ指数）は気温・湿度・輻射熱から算出される熱中症リスクの指標です。

### 4. エリア別環境

#### 株式会社Agx 平塚事務所 高温 センサー1台

平均湿度が61.9%と高め、最高湿度は72.0%に達し、WBGTも最大29.0°Cと嚴重警戒レベルで推移しました。高温多湿な環境により熱中症リスクが非常に高まっています。

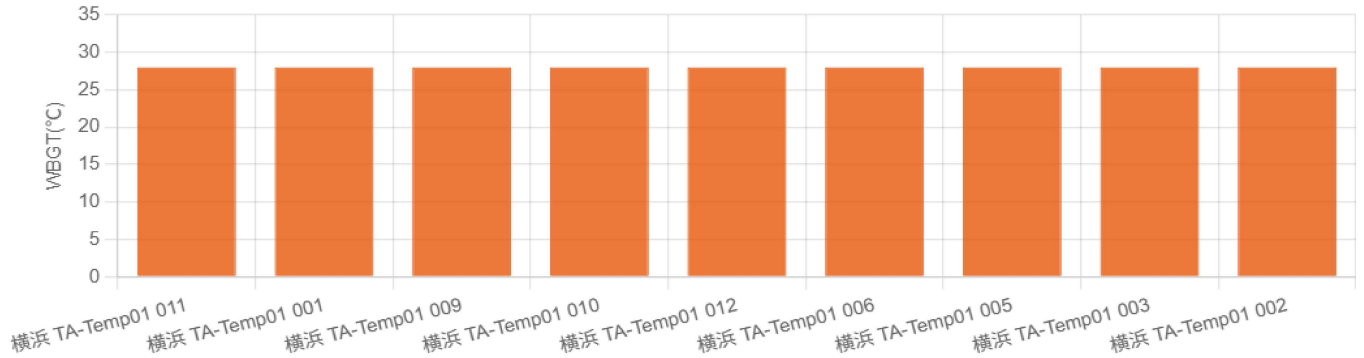
株式会社Agx 平塚事務所 センサー別 最高WBGT(°C)



#### パシフィコ横浜展示ホール 高温 センサー9台

平均気温が27.4°C~28.5°C、最高気温は31.8°Cに達し、WBGTも最大28.0°Cで嚴重警戒レベルです。全体的に高温で熱中症リスクが高い状態が継続しています。

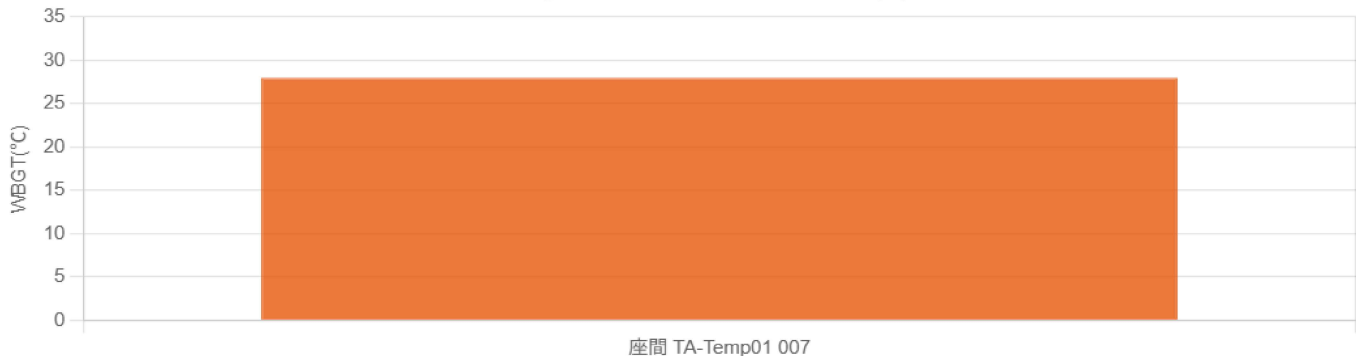
パシフィコ横浜展示ホール センサー別 最高WBGT(°C)



#### 株式会社Agx 座間事業所 高温 センサー1台

平均気温が27.7°C、最高気温は31.1°C、WBGTは最大28.0°Cで嚴重警戒レベルに達しました。特に高温環境下での作業には十分な注意が必要です。

株式会社Agx 座間事業所 センサー別 最高WBGT(°C)



※ 拠点ごとに、その拠点に設置された各センサーの最高WBGT（対象期間中の最大値）と総評を表示しています。拠点多い場合は、最高WBGTの高い順に上位5拠点のみ掲載します。リスク種別は最高WBGT・最大湿度から判定し、バーの色は熱中症の危険度（緑=安全～赤=危険）を表します。

## 5. 推奨アクション

### 定期的な水分・塩分補給の徹底

WBGT「嚴重警戒」レベルが頻発しているため、作業員に対し20分に1回程度の頻度で水分・塩分補給を義務付け、現場責任者はこれを徹底的に監督してください。

### 休憩時間の確保と適切な休憩場所の提供

WBGT値に応じて休憩回数・時間を増やし、日陰や冷房の効いた休憩場所を確保してください。特にWBGT28℃以上の時間帯は30分に1回、10分以上の休憩を推奨します。

### WBGT測定器の活用と作業計画の見直し

各現場でWBGT測定器を常時活用し、測定値に基づいて作業負荷や作業時間を柔軟に調整するよう、現場安全管理者は作業計画を随時見直してください。

### 熱中症の初期症状に関する周知と異常時の速やかな対応

作業員全員に熱中症の初期症状（めまい、吐き気、頭痛など）を再周知し、異常を感じた際は直ちに作業を中断し、現場責任者に報告するよう指導してください。異常時の緊急連絡体制と対応手順を確認し、速やかな救護体制を整えてください。

### 冷却グッズの積極的な利用推奨

空調服、冷却ベスト、ネッククーラーなどの冷却グッズの着用を積極的に推奨し、必要な場合は企業からの支給または補助を検討してください。

### 作業員の体調管理の徹底

朝礼時の健康チェックを強化し、睡眠時間、体温、持病の有無などを確認してください。体調不良の作業員には無理な作業をさせず、必要に応じて医療機関の受診を促してください。

## 6. 来週のリスク予測

来週のリスク予測は、heat-risk-predictor 連携後に表示されます。